

3. 文京区の歴史的建物を町づくりの核として保存活用する

文京たてもの応援団
(東京都文京区)

I. 活動の背景

安田邸の保存をきっかけにできたこの会は、1998年に一般公開されるのにともない、この建物の今後の保護活動事業を側面よりサポートし、更に、この地域にある歴史的建物を安田邸と同様に調査し、今後の利用や活用の方法を住む人と共に考え、多様な提案をしてくことを目的としている。

また、区にある様々な建物を、会員だけではなく一般の方に知らせる事も会の目的の一つである。

II. 活動の内容

(1) 『たてもの応援団通信』について

1996年4月にスタートしたこの会は、その年の5月より毎月1回例会を開いている。この会の話し合いで決定した事や連絡事項（見学会開催等）を次の例会の約2週間前までに『たてもの応援団通信』として全会員に発送している。これにより出席できない会員にも、現在の会の内容を把握出来るようにしている。

現在（3月末まで）に、21号発行している。

(2) 歴史的建築の調査

1997年4月に大正12年に建てられた数寄屋建築の山脇邸の調査及び見学を3回行った。山脇様より今までの経過や、今後の建物の活用方法などを伺う。また、一部土間部分の壁の崩れや屋根の雨もりがあるという事で、工務店を紹介し補修のアドバイスをした。

1997年5月には、江戸時代の建て物であると言われている通称「足軽長屋」の調査を行った。その後、この建て物が文化財として保存出来るかどうか専門家に調査を依頼する。現在は江戸東京たてものに収蔵できるかを検討中である。1997年8月には、安田邸の売却されて9月に取り壊される西側住宅棟と、門の脇にあった「伴待ち」の調査を行う。

(3) 税の勉強会及び見学会

①勉強会



建物調査

建て物を残す事を思うと、いつもぶつかるのが相続税と固定資産税である。この税に関して、私たちはほとんど知識がないというのが実状で、今回は一般的な事例をもとに勉強した。次回は具体的な建て物及び土地について、実際どのくらい税がかかるのかについて勉強会を企画している。

②見学会

- | | |
|-----------|------------------------|
| ○西方町見学会 | 約20名参加し、同町に住む会員の案内で行う。 |
| ○本郷瀬川邸見学会 | 約15名参加 |

(4) パンフレットの発行

かねてより懸案だった「たてもの応援団」パンフレットが出来上がった。今後はこれを有効に活用したいと考えている。

また、2月26日に安田邸が東京都の指定文化財となり、そのきっかけとなった調査報告書と、今年度行われた西側住居棟と伴待ちの調査報告書を掲載した「千駄木の近代和風住宅安田邸が残った」と言うタイトルの調査報告書を作成した。パンフレットと共に活用したいと考えている。



パンフレット

III. 活動の結果及び今後の課題

見学・調査を行った山脇邸は、その後も数回訪問し、今後一般の方にも見学出来るようお願いしている。そしてまた、私たちの方で保存の相談など応じられるようにしている。この一年間を通して活動した結果、会員が少しずつ増えパンフレット作成後更に入会者が増えている。

昨年は、京都の駒井邸の保存運動に、激励のエールを送るなど他の団体との交流もできた。

また、今年9月は、東京で街並みゼミの集会があるのでこれを期に積極的に横のつながり

りを持ちたいと考えている。

今年度、計画予定であった安田邸でのスケッチ会・作法教室等が、安田さんの新居への引っ越ししが伸びたため実行出来ずに至った。今年（1998年）6月以降は引っ越しがすべて完了するので、引き続き上記内容を今年度実行したいと考えている。

今後の課題だが、一年前安田邸の保存という大きな課題に向かって会員が一丸となり取り組んで来たときと比べると、各自の関わり方が多少沈滞気味の一年だったようだ。今後は、パンフレットを有効に活用し講習会や見学会など誰でも気軽に参加できる会を企画し、地域と密着した行動を行っていきたいと思う。